

# 令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和5年6月29日

部課名 健康こども部スポーツ振興課

施設名	弘前市立温水プール石川(G23)
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	弘前市大字小金崎字村元125番地
指定管理者名	公益財団法人弘前市スポーツ協会
指定期間	平成26年4月1日から令和6年3月31日
<b>1 事業計画の実施状況</b> 施設の設置目的を理解し、協定書、監理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。施設の維持管理については、職員間の情報共有や他指定管理施設との連携により適正な管理運営を実施している。	
<b>2 自主事業の実施状況</b> 施設の特徴を活かした「水中エアロビクス」「アクアビクスウォーキング」教室を行うほか、コロナ禍で中止していた「おとな朗読会」も開催した。また、引き続き、利用者の利便性向上のため、水泳用品・アメニティグッズ・サプリメントを販売したことに加え、利用者からニーズの高い、アイスの自動販売機の導入も継続していた。	
<b>3 市民サービス向上のための取組状況</b> パンフレット、月間・週間予定表、ホームページ、SNS(Facebook)、館内掲示物を随時更新し、情報提供を実施したほか、コロナ禍における施設利用案内については、市と連携しながら随時対応で情報提供を行った。また、施設の特徴に合わせた講習会に積極的にスタッフを派遣した。オンライン化に乗り、通常では予算的に1名程度しか受講できない講習(ノルディックウォーキング指導員、スポーツ施設管理士)に、協会全体で数名のスタッフを参加させ、資格を取得させた。	
<b>4 市民ニーズの把握の実施状況</b> ご意見箱、ホームページでのお客様の声、SNS(Facebook)での問い合わせなどを行った。また、より多くの利用者から、よりタイムリーに利用者からのご意見を聴取するため、アンケート実施方法の見直しを図り、年間を通じてアンケートを収集する方法を取り入れた。その結果、いただいた問い合わせやアンケートに、即対応できる案件は迅速に修理や手直しを施し、スタッフの接遇についても随時の対応を行った。自主事業を実施した際にもアンケートを収集し、お客様のニーズの把握に努めていた。	

## 5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

利用団体数 870件（前年比146.5%、※R1年度比116.4%）  
利用人数 27,018人（前年比113.4%、※R1年度比65%）  
使用料 2,511,930円（前年比118.5%、※R1年度比86.7%）  
※R3年度：温水プール、機器故障に伴う改修工事により4-11月休止  
          コロナによる利用休止期間（9月及び1月末-3月）  
※R4年度：シャワー故障及び貯湯槽配管漏れ（4-6月）  
          特別清掃、塗装工事により1-2月休止

## 6 指定管理業務の収支状況

再委託業務仕様内容の変更（必要度の査定及び近似業務の統一化）、計画的な修繕実施計画、計画的な経費執行等により、概ね適正な執行状況となった。

## 7 実地調査の結果

施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

## 8 成果指標の達成度

利用件数:目標	234件	実績	870件	達成率	372%
利用人数:目標	29,530人	実績	27,018人	達成率	91%

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	業務日誌等、毎日の基本業務を適切に実施し、さらにコロナ感染症防止対策に対応した。可能な範囲で自主事業を実施し、アンケート調査から利用者のニーズ把握に努めた。必要な業務報告は遅滞なく報告した。	使用料の取り扱い等についてコンプライアンスを徹底させるための職員研修を実施し、定期的な内部会計監査を実施したが、今後も継続的な実施が必要である。また、コロナ禍での安全安心な利用環境を提供する必要性と新たな生活(運動)習慣に合わせた柔軟な対応が求められる。
施設の管理	B	従来維持管理の水準を維持した上で、利用者の安全を第一に緊急時(災害)対策に努めるとともに、個人情報・文書・備品等の管理を実施した。	
経理の状況	B	指定管理料の長期的な執行計画を基に適正に執行に努めたが、最低賃金改定等による人件費のベースアップに対応できない。	指定管理料を超える不測の事態(修繕)に備えた予算確保。
団体の財務状況	B	指定管理料及び収益事業を適正に管理し予算範囲内で財務状況を維持できたため。	組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要である。

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	適正な施設運営を行っている。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	B	快適な施設環境作りと安全対策や緊急時対策を図っており、また個人情報や文書や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	今後も適正な経理執行に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

### 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

### 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

### ※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する